

## 質 問 回 答

2023 年 11 月 27 日

「南アフリカ共和国無収水管理能力向上プロジェクト」

(公示日:2023 年 11 月 15 日／調達管理番号:23a00464)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P6 第 1 章 9.(1) 1)業務管理体制及び若手育成加 点	JV 編成を行って、A 社のシニアと B 社の若手が業務管理グループを構成したうえで、若手育成加点を獲得することは可能でしょうか。	可能です。 プロポーザル作成ガイドライン別添資料 3 の次の記載の通り、「構成員を含」みますので、JV 間で社が異なる組み合わせでも、若手育成手加点的対象となります。
2	p.9 (1)本プロジェクトの基本方針 及び p. 22 (1)本事業への教訓	当該 2 頁記述において、先行案件におけるロジ、調整関連の支障発生と研修計画への影響、実施目標の未達に言及されている。 その背景として南ア public sector reform の進捗状況という点と、JICA 技プロチーム側のパフォーマンスという点が両方あったと考えられるが、JICA 地球環境部の現時点での評価は如何？	先行案件で見られた課題は、セクター改革及び JICA 技プロチーム側のパフォーマンスというよりも、カウンターパートである水衛生省(DWS)において研修動員、調整等を担当する人材に限られており、結果的に目標達成のために技プロチームがサポートをせざる得ない状況であったと考えます。 よって、本案件では専任職員の配置に加えて、可能な範囲で職員の追加を DWS に対して要請をしています。
3	p.11 (7) 域内水道事業体連携の 取り組み支援	「幹部フォーラム」および「3 か国連携ワークショップ」につき、開催予定年度および国の記載がありますが、それぞれ具体的に何月頃開催の見込みなどの情報がありましたら、ご教示いただけますでしょうか。	①2024 年度／マラウイ開催予定の 3 か国連携ワークショップについては、現時点で 8 月又は 9 月頃に開催予定です。②と③については、開催時期は未定です。

		<p>①2024 年度／マラウイ開催予定の 3 か国連携ワークショップ</p> <p>②2025 年度／ウガンダ開催予定の幹部フォーラム</p> <p>③2025 年度／南アフリカ開催予定の 3 か国連携ワークショップ</p>	
4	<p>p.11 (7) 域内水道事業体連携の取り組み支援</p> <p>p.37 (4) 定額計上について</p>	<p>マラウイへの渡航・同国内での移動等に係る経費は定額計上項目として記載がありますが、ウガンダで開催される幹部フォーラム参加に係る費用については定額計上項目にありません。幹部フォーラムへの同行に係る費用は定額計上に含まれるか否かにつきましてご確認いただけますでしょうか。</p> <p>定額計上に含まれない場合かつ必要な経費と考える場合は本見積への計上という理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>幹部フォーラムへの同行にかかる参加費用は、別途同案件に係る経費より支出を行いますので、本件での見積計上は現時点では不要です。</p>
5	<p>企画競争説明書 P11 第 2 章特記仕様書(案) 【2】特記仕様書(案) 第 3 条実施方針及び留意事項 2. 本業務に係る実施方針及び留意事項 (7) 域内水道事業体連携の取り組み支援 6 行目～8行目 P37</p>	<p>・マラウイのみの計上となっており、ウガンダが計上されていませんが、ウガンダも定額計上なのでしょう。</p> <p>・定額計上ではなく見積書に含める場合、マラウイと同じ人数、日数でしょうか。</p> <p>・ウガンダ国内の移動費に関して、会場はカンパラを想定しているのでしょうか。</p>	<p>回答 No.4 に同じです。</p>

	<p>第3章プロポーザル作成に係る留意事項</p> <p>4. 見積書作成に係る留意事項</p> <p>(4) 定額計上について</p> <p>3 3か国連携ワークショップ参加に係る南ア側及び受注者の旅費</p>		
6	<p>P.35 第3章</p> <p>3. プレゼンテーションの実施及び</p> <p>P.39 プロポーザル評価配点表</p>	<p>業務主任者経験に加えて、プレゼンテーションは「別紙 プロポーザル評価配点表」の「イ」業務主任者としての経験の5点の範囲内で評価されるということでしょうか。</p>	<p>ご理解の通りです。</p> <p>プロポーザル作成ガイドライン別添資料2の次の記載で、「業務主任等としての経験」に次の観点が加わる旨を記載しております。</p> <p>(以下、引用)</p> <p>【プレゼンテーションを実施する場合には、業務主任等としての経験に以下の観点を加える。】</p> <p>プレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション及び質疑応答を通じ、業務主任者等がプロポーザルの内容に精通しているか、評価する。</li> <li>・プレゼンテーション及び質疑応答を通じ、表現の論理性、説得力、途上国における事業に関わる責任者としての資質などを評価する。</li> </ul>
7	<p>p40</p> <p>プレゼンテーション実施要領</p>	<p>「実施時の資料」について、枚数等の制限があればご教示願いたい。</p>	<p>資料数量については、明確な上限・制限を設けておりませんが、資料に基づくプレゼンテーションの時間は10分であることを念頭に、適切な分量で作成願います。</p>

以上